



## 2025年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月30日

上場会社名 株式会社 ラクーンホールディングス 上場取引所 東

コード番号 3031 URL <http://www.raccoon.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当副社長 (氏名) 今野 智 TEL 03-5652-1711

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年4月期第1四半期の連結業績 (2024年5月1日～2024年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第1四半期	1,523	9.6	299	7.6	298	6.2	205	12.3
2024年4月期第1四半期	1,389	9.1	278	△11.4	281	△10.1	182	△8.5

(注) 包括利益 2025年4月期第1四半期 205百万円( -12.3%) 2024年4月期第1四半期 182百万円( △8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第1四半期	9.58	9.52
2024年4月期第1四半期	8.37	8.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年4月期第1四半期	15,807	5,043	30.8	227.79
2024年4月期	15,382	4,932	31.1	223.24

(参考) 自己資本 2025年4月期第1四半期 4,875百万円 2024年4月期 4,778百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年4月期	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 14.00
2025年4月期	—	—	—	—	—
2025年4月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年4月期の連結業績予想 (2024年5月1日～2025年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	6.4	580	77.6	570	74.5	250	23.4	11.68
通期	6,100	5.0	1,250	120.5	1,250	133.3	700	114.7	32.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年4月期1Q	22,235,143株	2024年4月期	22,235,143株
② 期末自己株式数	2025年4月期1Q	830,310株	2024年4月期	830,257株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年4月期1Q	21,404,874株	2024年4月期1Q	21,825,518株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年5月1日～2024年7月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中、インバウンド需要の増加もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、インバウンド需要の恩恵が首都圏中心になっていることや、為替変動や物価上昇に加え、海外景気の下振れリスク等、先行き不透明感がある状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは2025年4月期における営業利益の倍増及び過去最高益の達成を目指しております。具体的には、EC事業、フィナンシャル事業、それぞれの顧客獲得ベースを向上させることで事業規模拡大に努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,523,582千円(前年同期比9.6%増)となりました。

費用面におきましては、EC事業で集客効果が高いリスティング広告を中心に積極的な広告投資を行っており、広告宣伝費は前年同期比12.0%増となりました。人件費及びその他費用については前年同期比8.4%増となり販売費及び一般管理費は前年同期比9.3%増となりました。この結果、営業利益299,854千円(前年同期比7.6%増)、経常利益298,522千円(前年同期比6.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益205,150千円(前年同期比12.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① EC事業

EC事業の主力事業である「スーパークリエイター」は、購入客数の成長維持と客単価の向上により流通額を増加させることに取り組んでおります。当期は前期に高まった購入客数の増加ペースを維持させることに取り組んでおります。

国内は、集客効果が高いリスティング広告を中心に広告投資を行っており、これにより会員登録数、購入客数の増加ペースは前期に引き続き高い水準を継続しております。一方で客単価の低い新規購入者数の割合が大幅に増加したことなどによる国内の購入客単価の低下が継続しておりますが、購入客数の増加がカバーした結果、国内流通額は前年同期比11.4%増となりました。

海外は、前期から販促・広告投資を強化しているアメリカ・韓国の流通額は高い成長率を継続しております。また、しばらく停滞が継続していた台湾の流通額が成長基調に回帰しております。この結果、海外流通額は前年同期比19.2%増になり、当第1四半期連結累計期間の「スーパークリエイター」の流通額は6,698,109千円(前年同期比13.5%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における「スーパークリエイター」の会員数は413,894店舗(前期末比17,477店舗増)、出展企業数は3,207社(前期末比5社減)、商材掲載数は1,698,822点(前期末比40,369点増)となりました。

この結果、EC事業の売上高は865,654千円(前年同期比8.6%増)となりました。費用面においては、集客効果が高いリスティング広告を中心に積極的な広告投資を行っており前年同期比25.0%増となりました。人件費は前期比12.7%増となりましたが、その他の費用は抑制された結果、販売費及び一般管理費は前年同期比14.5%増となり、セグメント利益は298,936千円(前年同期比2.7%減)となりました。

## ② フィナンシャル事業

「Paid」におきましては、加盟企業の獲得増加を継続するとともに、加盟企業単価を向上させることに取り組んでおります。取扱高は順調な成長が継続しており、グループ外の取扱高は9,781,435千円(前年同期比11.2%増)、全体の取扱高(グループ内の取扱高3,031,356千円を含む)は、12,812,792千円(前年同期比11.4%増)となりました。

「URIHO」におきましては、契約者数を増やすことにより保証残高を増加させ、売上高成長に繋げることに取り組んでおります。当第1四半期連結会計期間末の保証残高は、118,765,623千円(株式会社ラクーンフィナンシャル分57,369,511千円(前期末比2.0%増)、株式会社ラクーンレント分61,396,112千円(前期末比4.7%減))と前期末比1.6%減になり、URIHOの保証残高は順調に積みあがりました。この結果、フィナンシャル事業の売上高は736,845千円(前年同期比11.1%増)となりました。

費用面においては、売上原価率は当社グループの与信審査の適切なコントロールにより、適正な水準の範囲の維持を継続しております。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費が前年同期比16.3%減となったことに加え、その他の費用についても増加が抑制されたことで前年同期比1.1%増に抑えられました。この結果、セグメント利益は183,051千円(前年同期比44.7%増)となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

### ① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より425,415千円増加して15,807,558千円になりました。流動資産は364,441千円増加して13,082,202千円になりました。増加の主な要因は、借入等により現金及び預金が285,813千円増加したことと、取引の増加に伴い売掛金が125,027千円増加したことによるものです。固定資産は60,974千円増加して2,725,356千円になりました。増加の主な要因は、投資有価証券において新規取得30,000千円を計上したことと、ソフトウェアとソフトウェア仮勘定が合計で19,192千円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より314,629千円増加して10,763,954千円になりました。流動負債は330,204千円増加して9,791,550千円になりました。増加の主な要因は、短期借入金において新規借入300,000千円を計上したことと、取引の増加に伴い買掛金が83,832千円増加したことによるものです。固定負債は15,574千円減少して972,404千円になりました。減少の主な要因は返済により長期借入金が11,250千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は110,786千円増加して5,043,604千円になりました。増加の主な要因は配当金の支払いにより利益剰余金が107,672千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益205,150千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より279,274千円増加して4,892,654千円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は175,626千円となりました。この主な要因は、売上債権の増加125,027千円により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益298,522千円により資金が増加したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は74,660千円となりました。この主な要因は、ソフトウェア開発等による無形固定資産の取得による支出46,662千円と投資有価証券の取得による支出30,000千円を計上したことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は178,308千円となりました。この主な要因は、配当金の支払額107,672千円により資金が減少した一方で、短期借入金の純増額300,000千円により資金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日付け「2025年4月期第2四半期業績予想の公表について」にて、2025年4月期第2四半期（累計）の連結業績予想数値を公表しており、売上高3,000百万円、営業利益580百万円、経常利益570百万円、親会社株主に帰属する中間純利益250百万円を見込んでおります。当社は通期での業績管理を行っていることから、第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては例年、未公表としておりました。しかしながら、前期において広告宣伝費の大幅な増強を第2四半期以降に実施しており、一方で、今期の広告宣伝費は各四半期で大きな変動を予想しておりません。そのため、今期の前年比利益成長率は上半期（特に第1四半期）が相対的に低く、下半期が相対的に高くなる、例年と違った傾向となることから、投資家の皆様の理解促進のために、2025年4月期第2四半期（累計）の連結業績予想数値を公表いたしました。詳細につきましては、「2025年4月期第2四半期業績予想の公表について」をご参照ください。なお、通期業績予想につきましては概ね予定通りに推移しており、現時点においては前回公表時より変更はありません。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,624,362	4,910,176
売掛金	7,702,545	7,827,573
求償債権	47,696	55,494
貯蔵品	132	76
前払費用	224,394	208,394
その他	451,642	458,396
貸倒引当金	△333,013	△377,909
流動資産合計	12,717,761	13,082,202
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	620,329	620,329
減価償却累計額	△130,572	△136,451
建物（純額）	489,756	483,877
工具、器具及び備品	82,769	83,267
減価償却累計額	△42,261	△45,266
工具、器具及び備品（純額）	40,507	38,000
土地	882,140	882,140
有形固定資産合計	1,412,404	1,404,018
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	310,072	302,158
ソフトウェア仮勘定	102,804	129,911
その他	1,721	1,638
無形固定資産合計	414,599	433,707
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	461,733	489,733
敷金及び保証金	1,748	1,748
繰延税金資産	373,816	396,067
その他	80	80
投資その他の資産合計	837,378	887,629
<b>固定資産合計</b>	2,664,381	2,725,356
<b>資産合計</b>	15,382,142	15,807,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	8,245,084	8,328,917
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	45,000	45,000
未払金	254,210	213,918
未払法人税等	134,029	134,055
保証履行引当金	169,381	173,490
賞与引当金	103,455	43,638
販売促進引当金	58,710	60,173
預り金	14,122	21,972
その他	437,351	470,383
<b>流動負債合計</b>	<b>9,461,345</b>	<b>9,791,550</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	926,250	915,000
その他	61,728	57,404
<b>固定負債合計</b>	<b>987,978</b>	<b>972,404</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,449,324</b>	<b>10,763,954</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,864,071</b>	<b>1,864,071</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,263,889</b>	<b>1,263,889</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>2,550,214</b>	<b>2,647,692</b>
<b>自己株式</b>	<b>△899,839</b>	<b>△899,871</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>4,778,337</b>	<b>4,875,782</b>
<b>新株予約権</b>	<b>154,480</b>	<b>167,821</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,932,818</b>	<b>5,043,604</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,382,142</b>	<b>15,807,558</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
売上高	1,389,533	1,523,582
売上原価	269,274	303,621
売上総利益	1,120,258	1,219,961
販売費及び一般管理費	841,582	920,106
営業利益	278,676	299,854
営業外収益		
受取手数料	631	535
保険解約返戻金	5,231	—
その他	917	651
営業外収益合計	6,781	1,187
営業外費用		
支払利息	958	2,046
支払手数料	886	376
自己株式取得費用	2,465	—
その他	0	96
営業外費用合計	4,310	2,519
経常利益	281,147	298,522
税金等調整前四半期純利益	281,147	298,522
法人税等	98,404	93,372
四半期純利益	182,742	205,150
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,742	205,150

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	182,742	205,150
四半期包括利益	182,742	205,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,742	205,150

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 2024年5月1日  
至 2024年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	298,522
減価償却費	34,467
株式報酬費用	13,340
貸倒引当金の増減額（△は減少）	44,895
保証履行引当金増減額（△は減少）	4,109
受取利息及び受取配当金	△2
支払利息	2,046
売上債権の増減額（△は増加）	△125,027
求償債権の増減額（△は増加）	△7,797
棚卸資産の増減額（△は増加）	55
仕入債務の増減額（△は減少）	83,832
預り金の増減額（△は減少）	7,850
前受金の増減額（△は減少）	39,008
前払費用の増減額（△は増加）	15,999
未払又は未収消費税等の増減額	△18,579
その他	△107,112
小計	285,608
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△2,047
法人税等の支払額	△107,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△498
無形固定資産の取得による支出	△46,662
投資有価証券の取得による支出	△30,000
定期預金の払戻による収入	500
投資事業組合からの分配による収入	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△11,250
配当金の支払額	△107,672
自己株式の取得による支出	△32
短期借入金の純増減額（△は減少）	300,000
その他	△2,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	178,308
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	279,274
現金及び現金同等物の期首残高	4,613,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,892,654

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更是、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	796,974	592,558	1,389,533	—	1,389,533
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70,479	70,479	△70,479	—
計	796,974	663,037	1,460,012	△70,479	1,389,533
セグメント利益	307,218	126,488	433,706	△155,030	278,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△155,030千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	865,654	657,928	1,523,582	—	1,523,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	78,916	78,916	△78,916	—
計	865,654	736,845	1,602,499	△78,916	1,523,582
セグメント利益	298,936	183,051	481,987	△182,132	299,854

(注) 1. セグメント利益の調整額△182,132千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。